

登録コード	TSG50500		開講年度	2026			
授業科目	化合物半導体デバイス演習Ⅰ					担当教員	山本 明旦定
英文授業名	Compound-Semiconductor Devices Tutorial 1					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士1年生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	特定の化合物半導体の性質及び作製過程を理解し、実践的なデバイスへの応用ができるようになる。	
(2)授業の概要	本授業は以下に示す2つの部分で構成する。 1) 関連する化合物材料の設計・作製・評価プロセスに関する最新情報の理解 2) 化合物半導体を用いたデバイスの設計・作製・評価プロセスに関する最新情報の理解						
(3)授業計画	第1～14回 関連分野の学術論文誌を参考に関連する化合物材料及びデバイスの設計・作製・評価などに関する最新情報について、各自の学生が希望したテーマに沿って調査してもらう。 毎週 進捗を報告する 第15回 得られた調査結果をまとめて報告（発表形式）する						
(4)成績評価の方法	最終報告（発表内容及び提出資料）の完成度などに基づいて評価する。						
(5)成績評価の基準	S：特に優れている「関連分野の現状を熟知し、最新動向を把握したうえ、自身の研究にも展開できている」 A：優れている「関連分野の現状を理解し、最新動向を把握している」 B：平均的である「関連分野の現状を理解できている」 C：必要最低限の水準を満たしている「自身の研究に直結している部分を理解している」 D：不十分「関連分野の現状を理解できていない」						
(6)事前事後学習の内容	関連分野の学術論文誌を週に2－3編程度熟読し、常に関連分野の最新の論文の動向を把握するように努めることを勧める。						
(7)履修上の注意	特になし						
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける（下記の電子メールにて事前連絡すること） myoth@shinshu-u.ac.jp						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	関連分野の学術論文誌						